

「うみらく」サービスの利活用による 離島・御所浦の交流促進事業

【団体名】NPO法人イーモビネット

地域の現状・課題（取組みの背景）

- リモートワーク、ワーケーション、ニ地域就労といった新しい働き方への社会的ニーズの高まりは、大都市圏からの交通アクセスなどにハンデを有する離島・御所浦にとっても大きな機会です。しかしながら、御所浦の認知度不足、地域の交通・滞在インフラに関する情報不足などから、関係人口創出のための「きっかけ」やそれを持続させる「仕組み・仕掛け」が十分でない状況でした。
- そこで、R元年度より、海の交通をテクノロジーを用いてもっと便利に、もっと使いやすくするべく、「うみらくプロジェクト」を編成し、御所浦地域の活性化のため、海上タクシー等を利用した移動・課題解決と交流人口拡大に取り組んできました。

取組みの概要

- ◆「うみらく」ワークショップ・イベントの開催
 - ・R3年度は、御所浦島外、島内の方が共に「御所浦をもっと盛り上げるアイデア」を検討しそのアイデアを体験型アクティビティの試行に結びました。
 - ・R4年度は、そのコンテンツが更に盛り上がる仕組み・仕掛けを検討し、SNSを活用するモニターイベントを開催しました。
- ◆情報基盤の整備
 - ・御所浦に関心を持つ人が、「うみらく」ワークショップ等への参加をきっかけとして、その後も積極的に関与できるようなプラットフォームの構築を検討しました。



ワークショップ風景



イベント風景

取組みの成果・現在の取組み状況

- 「うみらくプロジェクト」の地域資源や仕組みを活用し、御所浦・天草地域内外との交流を促進することで、地域の活性化と関係人口の拡大等に寄与し、多様な関わり方を持つコアな「御所浦ファン」を増やしました。
ワークショップ・イベントの参加人数（延べ人数）：R3年度計64人、R4年度計69人
- R3年度は、ワークショップのアイデアを基に、御所浦での体験やスポット巡り等のミッションをクリアすることで様々なリワード（プレゼント）がもらえる体験型アクティビティ「あつまれ！あまくさの島ごしょうら（あつ島）」を企画・実施しました。
R4年度は、LINEオープンチャットを活用した交流サイトプラットフォームや無線機等を試験導入し、あつ島を更に盛り上げる仕組みを構築しました。本事業により生まれた「あつ島」は、地域コンテンツとして定着しつつあり、地域団体により試行運営され自走化しています。
- ワークショップ等は継続していきながら、「あつ島」を地域コンテンツとして定着させるために、シェアリングカー等、島内の移動の確保やアプリ開発などについても地域団体と連携して進めていきます。更には、来年春開館予定の「御所浦恐竜の島博物館」をきっかけとした観光・交流人口拡大需要に対応するため、海上タクシーの予約・手配の一元化やDX化などの利便性向上についての実証事業を実施し、地域団体との協働により更に交流人口拡大につなげていく予定です。